

令和 2 年 4 月

お 客 様 各 位

富山生コンクリート協同組合
理事長 酒 井 正 人
富山市黒崎 66 番地
TEL 076(494)8668
FAX 076(494)8606



生コンクリート価格の改定について

陽春の候 皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素 当組合の運営に対し格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、富山地区における生コン業界を取り巻く状況は、北陸新幹線後の需要逡減に加え、陸砂利掘削規制強化に伴う骨材逼迫化を背景とした原材料高、大型運転手の不足による運搬経費の増大、更には産廃処理費の増嵩・働き方改革による休日拡大等々その経営環境は日に日に厳しさを増しつつあります。

これに対し、組合でも工場の集約化に取り組む等製造コストの削減に必死で努めてきましたが個別組合員の努力だけでは及ばない状況に至ったと判断し、かねてご案内のとおり「3000 円/㎡値上げ」を打ち出してお客さまの御理解を得ようと努めてまいりました。

しかしながら、昨今の新型コロナの影響甚大な経済環境下にあることも勘案し、「複数年にわたる値上げ」実施に変更することとし、このたび下記のとおり「1500円/㎡」の値上げをお願いすることとなりました。

各位におかれましても、大変厳しい環境下にあることは十分理解をしておりますが、私共組合員の苦境もお察し戴き、価格改定にご理解を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

記

令和 2 年 7 月 1日以降 契約分より

普通コンクリート(21-18-25N) 組合員価格 16, 000円

(追伸)本来ならば直接お目にかかりお願いすべきところですが、新型コロナ拡大防止の緊急事態宣言も出されている状況に鑑み控えさせていただいております。あしからずご了承ください。

なお、ご不明の点がありましたら電話又は FAX にてお問い合わせください。

富山生コン協組

7月分から1500円値上げ

引き上げは複数年に変更

富山生コンクリート協同組合(富山市黒崎66番地、酒井正人理事長)は、7月1日契約分からの生コンクリート価格について、1立方メートルあたり1500円の値上げを実施することを決めた。

同組合では、原材料であるセメントと骨材の原価アップ、運搬費高騰などを受け、1立方メートルあたり最大3000円の価格引き上げに向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの影響甚大な経済環境下にあることも勘案し、「複数年にわたる値上げ」に取り組むことに変更。今年度は7月

1日以降の契約分より、普通コンクリート(21-18-25N)の組合員価格を1万6000円にすることをした。

酒井理事長は、「組合ではこれまで、1立方メートルあたり3000円の値上げを目指して取り組みを続けてきたが、昨今の新型コロナウイルスの影響なども考慮し、分割して実施することにした」とした上で、

「富山地区は県都富山市を抱え、これからも都市機能の整備拡充を図りつつ、発展向上が強く求められる地域であり、それら社会資本の整備充実には、基礎資材である生

コンクリートは必要不可欠。今の地域整備、そして将来の発展開発のために、生コンが円滑に供給される体制を構築する上でも皆様方のご理解・ご協力をお願いしたい」と述べている。

組合では今後、各需要家に対して説明周知の上、理解が得られるよう努めていく方針だ。

富山協組の組合員は次の12社。▽あづまコンクリート工業▽酒井建設▽神通コンクリート工業▽立山生コンクリート▽デンカコンクリート▽デンカ生コン富山▽富山生コン工業▽富山菱光コンク

リート工業▽秋中組▽北陸宇部コンクリート工業▽八尾コンクリート工業▽八尾生コン。

日刊建設新報

令和2年(2020年)4月10日(金曜日)

(4)

富山生コンクリート協同組合

生コン価格、複数年で値上げ

7月から1500円、新型コロナを考慮

富山生コンクリート協同組合(富山市黒崎、酒井正人理事長)は、原価高、運搬費高、固定経費高などに伴い、7月1日契約分から富山地区での生コン価格を1㎡あたり1500円値上げすると発表した。当初は最大3000円の値上げを想定していたが、新型コロナウイルスの影響が甚大な経済環境を考慮し、今年度は値上げ幅を抑え、複数年で取り組んでいくことを8日の理事会で決めた。

の縮小に伴う骨材需給の逼迫を背景に、値上げ圧力がさらに強まっている。

生コンを運ぶミキサー車の運転経費も、大型車の運転手不足から来る物の運搬手不足から来る物流経費高騰の波をもろに受け、北陸新幹線開通後の大型工事減少の影響で運搬効率が悪くなっていることも併せ、1500円程度の費用増となっている。

また、プラントの維持費・動力電気代、産業廃棄物処理費などの経費も、働き方改革とも相まって固定費が増大する一方、協組員の出荷量は前回改定時に22千㎡/工場だったものが、近年は14千㎡/工場までに市場が縮小し、単位あたりの経費が増大している。

7月からの値上げに伴い、普通コンクリート(21-18-25N)の組合員価格は1万6000円/㎡となる。

組合によると、生コンの原材料であるセメント、骨材の品目価格が上がり、原材料費のアップ分だけで1000円の原価高で、特に富山地区では陸揚げ

し、単位あたりの経費が増大している。

酒井理事長は、「新型コロナウイルスの影響等も考慮し、分割して値上げすることにした。富山地区は県都富山市を抱え、今後都市機能の整備拡充、発展向上が強く求められる地域で、社会資本の整備充実には基礎資材の生コンが必要不可欠。将来の発展開発のために生コンが円滑に供給される体制を構築する上でも、皆様方のご理解・ご協力をお願いしたい」とコメントしている。